

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



子牛の下痢を予防しましょう！！

子牛の下痢は様々な要因で生じますが、今回は、細菌、ウイルス、寄生虫の中でも一般的な病原体についてご紹介します。

下表に症状、発症時期、死亡率等を記載していますが、下痢の症状を見て、どの病原体が原因であるかを特定するのは非常に困難です。そのため、牛舎内の子牛で下痢が続く場合や、多数の子牛で下痢が認められる場合には、担当の獣医師の先生とご相談の上、家畜保健衛生所までご連絡ください。

分類	病原体	症状	発症時期	感染様式
細菌	腸管毒素原性大腸菌	大量の水様性下痢	1～3日齢	経口感染
	サルモネラ菌	悪臭のある下痢便	4週齢以内	
ウイルス	ロタウイルス	水様性下痢	5～7日齢	
	コロナウイルス	水様性下痢	1～3週齢	
寄生虫	コクシジウム	ときに粘液や血液を混じる下痢	2週齢～育成期	
	クリプトスポリジウム	粘液を混じる下痢	1～3週齢	

分類	病原体	死亡率	治療	予防	人への感染
細菌	腸管毒素原性大腸菌	低～中	対症療法、抗菌剤	ワクチン(親)	△
	サルモネラ菌	菌型によっては高		ワクチン	○
ウイルス	ロタウイルス	低～高	対症療法	ワクチン(親)	×
	コロナウイルス	高		ワクチン(親)	×
寄生虫	コクシジウム	低	サルファ剤	なし	×
	クリプトスポリジウム	低	対症療法	なし	○

十勝NOSAIのHP一部参照

予防としては、密飼いを避ける、初乳を十分に給与する等が挙げられます。ワクチン接種により予防できる病原体もあるので、子牛の下痢で悩まれている農家さんではご検討されると良いかと思います。

最後に、下痢に限らず動物が感染する病原体の一部は人にも感染することがありますので、作業後の手洗い等の基本的な衛生管理を心がけましょう。

野鳥での鳥インフルエンザの発生状況について

2月21日に熊本県天草市下浦町の畑において、ハシブトガラス5羽が死亡しているのが発見され、遺伝子検査の結果、うち1羽からA型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が出ました。現在、本ウイルスが高病原性であるかどうか鳥取大学で確定検査を実施中です。

また、3月1～6日に兵庫県では同一の場所で死亡していた複数のカラスから高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）が検出されております。各県での回収地点、回収日及び検査状況等については下表をご参照ください。

3月に入り、渡り鳥が移動を始めていることから、国内でのウイルスの動きがあると考えられます。そのため、家きん飼養者の皆様におかれましては今一度、飼養衛生管理基準の遵守等、ウイルス侵入防止のための防疫対策の強化をお願いいたします。

都道府県	場所	種名	回収日	簡易検査	遺伝子検査	簡易及び遺伝子検査陽性個体数	高病原性鳥インフルエンザウイルス確定検査	野鳥監視重点区域指定状況
熊本県	天草市	ハシブトガラス	2/21回収	陰性	陽性	1	確定検査機関で検査中	3/6指定
北海道	様似町	マガン	2/18回収	陰性	陽性	1	確定検査機関で検査中	3/6指定
兵庫県	伊丹市	ハシブトガラス	3/1回収	陽性		5	3/6 確定H5N6亜型	3/1指定
			3/2～6回収			20	確定検査機関で検査中	

近隣諸国における悪性家畜伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	モンゴル	1月15日	牛、羊、山羊	O型
	ロシア	2月8日		
高病原性鳥インフルエンザ	台湾	1月31日	肉用あひる	H5N8
		2月15日	地鶏	H5N2
	香港	2月7日	野鳥	H5N6
	韓国	2月8日	採卵鶏	H5N6

平成30年3月1日時点

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

